

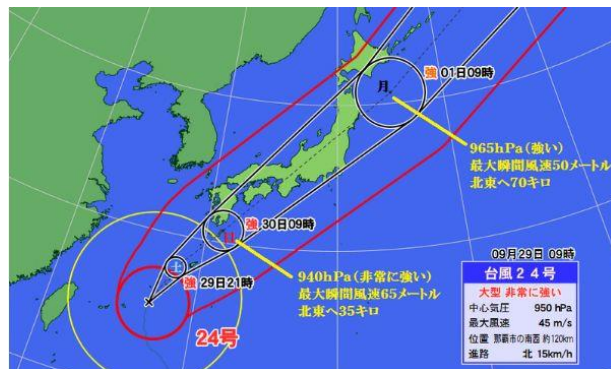
今を未来に

【台風24号の被害はありませんでしたか】

みなさんのお宅では、台風24号の被害はありませんでしたか。四日市市では30日の13:51に、避難所開設のため小学校では10校の管理職が学校へ召集されました。保々地区では、西村町新田に朝明川の水位上昇のため15:18に避難準備・高齢者等避難開始が発令されました。避難対象の住民の方の人数が少なかったため、保々地区市民センターが避難所として指定されましたが、避難された方はみえなかったそうです。

台風は予想通り、猛スピードで三重県北部を通過し、1日の朝の時点では吹き戻しの風が少し残る程度になっていました。通学路の点検の結果、大きな倒木で道がふさがれることもなく、学校はいつも通りに始業となりました。登校をしてきた子どもたちに声をかけると、「寝ていたから怖くなかった。」という子が多い中、何人かの子は「夜はととても怖かった。」と答える子もいました。風と雨の吹き付ける音で、なかなか寝られなかった子もいたようです。

保々小学校は咲き始めたキンモクセイの小さなオレンジ色の花が風で散らされ、抜いた草を肥料にするためにかけてあったシートが飛ばされ、視聴覚室横の畑に植えたハクサイの苗が全滅した程度で、今回は大きな被害はありませんでした。四日市市内の情報を集めてみると、避難準備・高齢者等避難開始が発令された時点で、特に高潮を経験したことがある地域の方は、相当数避難所に避難をしていたそうです。また、学校については台風21号の時の方が突風で大木が倒れたという学校が多く、今回はそういった大きな被害はほとんどの学校で出なかったようです。ただ、避難所が開設された地区に限って、今回も停電をした地域が多くあり、真っ暗な状態で夜を過ごしたという話を聞きました。心配なのは、次の台風25号ですね。



【職員の異動がありました】

9月26日から、3年生以上の外国語と2年生の算数などの授業を専科で担当していた板倉真衣先生が産休に入りました。板倉先生の後には、低学年で音楽・図工などを担当していた堀優花先生が入り、3年生以上の外国語と2年生の音楽専科をお願いすることになりました。その堀先生に代わって田邊まさる先生が低学年の図工や1年生の生活科などのTTとして入ることになりました。

【教育実習が始まりました】

10月1日から26日までの4週間、3年A組を中心に、本校の卒業生である市川拓海さんが、教育実習に来てもらっています。初日は3年A組の子どもたちと自己紹介をしたりして、楽しい出会いの時間を持つことができたと聞いています。大学でもラグビーをされているそうで、子どもたちから自分を指導して下さった方やご自身の親の働く姿から教員を目指そうと思われたそうです。

前半は、3年生以外の学年・学級の授業も参観し、授業づくりの勉強をしてもらいます。この保々小での実習を通して、教員になりたいという意志がより明確なものとなってくれることを期待しています。

【日常の活動が戻る】

○後期の委員会が始まりました

この月曜日の委員会から後期の委員会の活動が始まりました。今年度になってから、どの委員会も自分たちができることを考え、より楽しく・安心して学校生活を送ることができるように、工夫して活動してくれています。

後期の委員会活動でもそうした自主性が見られた時に、また学校だよりでも紹介していきたいと思っています。期待しています。

○1日の始まりは朝読書から

日常と言えば、朝の読書活動からです。運動会が終わってから、朝の遊びから教室に戻るタイミングが遅くなっている姿が見られます。放送委員会の人々がチャイム3分前に放送で呼び掛けてくれているのですが、運動場のブランコあたりにいると、その放送が聞こえづらいことが原因の一つだとわかってきました。放送の音量とスピーカーの向きの調整はなるべく早めに行いたいと思いますが、校舎の時計もみながら行動し、朝読書を大切にしていきたいです。



○三泗陸上の練習

来週の9日(火)に、6年生の中から選ばれた選手が、100m走、ソフトボール投げ、走り幅跳び、400mリレーに学校代表として参加します。運動会が終わってから放課後45分間、毎日練習をしています。6限の日は15:40から練習が始められるといいのですが、他学年で帰りが遅い学級があって、なかなか練習が始められません。5年生以下の方は、完全下校の約束を守って、選手の練習に協力してあげてください。



○3日(水)学校保健委員会 開催される

今年は、4年生の子どもたちの「けがをしなからだをつくろう」の授業参観をさせてもらって、学校医の本間Drに助言をいただく形で、開催させていただきました。保護者の方は、PTA保護者部とベルマーク部の方を中心に9名の方が参加してくださいました。

4年生の子どもたちは、今までに保健の学習で体を強くする3大要素の食事と睡眠については学習をしてきてあったので、この日は「運動」をテーマにして、自分の体を強くすることを学びました。4年生の子どもたちのけがは、1年生の時285件、2年生の時209件、3年生の時157件と年々減少傾向にはありますが、骨折を経験したことがある子が10%程度あって、少し他学年より多い傾向にあります。運動をすることで、「骨が強くなる、体幹が鍛え上げられる＝バランスよく体を動かせる＝けがが減る」そんなつながりを学びました。4年生の実行委員の子が日常生活や遊びの中にも運動につながるものがたくさんあることを紹介してくれました。



本間Drからは「骨」という漢字にどのような意味があるのか、「内臓を守る」ということがこの漢字のつくりにつながっていることと、何でも「何でかなあと考え、そう思ったら自分で調べてみる」ことが大切であることもお話いただきました。また、参加いただいた保護者の方には、自分の体や命を慈しむ気持ちを普段の親子の会話の中で伝えていって欲しい、基本的な生活習慣(それはしつけと関係してくる)ができていないために学校で不調を訴えている子が多いことをお話いただきました。

